

公益活動報告書（令和7年度分）

（宛先）岡崎市長

令和 8年 6月 10日

団体名 非営利活動法人 BLUE WAVE JAZZ FORUM

代表者 理事長 福岡和夫

構成員 23 人（※令和8年4月1日時点の構成員数）

団体の目的	この法人 岡崎市を中心とした地域住民にたいして、文化資産である「内田修ジャズコレクション」の活用に関する事業を行い、ジャズという音楽文化の普及を通して地域住民の交流の場を提供するとともに、地域社会の公益の増進に寄与することすることを目的とする。
-------	--

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場 所	参加人数		活 動 内 容	効 果	分類 ※
		会員以外	会 員			
2025. 9. 27	千万町楽校 特設野外ステージ	81 人	20 人	「ジャズは友達 Part.2」 千万町ジャズ祭り 2025 好天に恵まれ実施できた。会場が山中にあるため昼間に地元ミュージシャン3グループの演奏を実施し、多くのお客様にご来場いただいた。	千万町町でのジャズ祭りで、生の演奏を楽しんでいただいた。このジャズ発信活動を通じてジャズの楽しさを堪能してもらう事ができた。	3
2025. 10. 18 2025. 11. 15	Vol.9 葵丘会館 Vol.10 りぶら ホール	延べ 252 人	36 人	ジャズの街岡崎発信連絡協議会事業が岡崎市の協力を得て内田修ジャズコレクションプライベートテープの音源を使用した、ジャズ講座をジャズピアノist山下洋輔氏をお招きし、2回開催した。	やまし氏の当時の感想を伺いながら、岡崎市の所蔵するコレクションを構成する、ヤマハジャズクラブの記録音源は、唯一無二の資産であることを市民にご理解いただいた。	3
2025. 10. 19	山下洋輔 ソロライブ	174 人	24 人	ジャズの街岡崎発信連絡協議会事業で内田修ジャズコレクション活用事業ジャズ講座の山下洋輔氏を講師にお迎えし、ソロライブを実施しました。	山下氏から、若い頃（ヤマハジャズクラブ例会に参加した当時）の当時の感想を伺いながら、岡崎市の所蔵するコレクションを構成する、ヤマハジャズクラブの記録音源は、唯一無二の資産であることを市民にご理解いただいた。	3
2025. 7. 19 2025. 9. 20 2026. 3. 14	りぶら ホール りぶら ホール りぶら ホール	88 人 108 人 187 人	20 人 16 人 20 人	○「ジャズは友達Part.1」 学生支援事業として・大学生バンドによる「BIG BAND MEETING」を開催 ○「秋JAZZ2025」として小沼ようすけライブを開催 ○「WHITE DAY JAZZ LIVE」 今岡友美スペシャルカルテットのライブを開催した。	地元大学の Big Band が集合した「BIG BAND MEETING」のアンサンブルを体感してもらうことができた。	3
2026. 2. 21	りぶら ホール	75 人	20 人	ジャズコレクション活用事業として「ジャケット展」を開催、TBM のレコードジャケットを使用し、日本のジャズ専門レーベルとして展開した。その時代背景をも感じ取ることができる展示の構成を考えた。合わせて藤井氏の講演会も実施した。	令和7年度は、コレクション活用事業の一環で、TBM レーベルのジャケットを中心に展示し、藤井武氏の講演を通して、当時の日本のジャズ事情を知ることができた	3
2025. 6. 6～11. 30	FM おかざき We Love Jazz 78 回	30 万世帯	120 人	毎週金曜日 21:00～21:30 毎週日曜日 16:00～17:00 21:00～22:00(再放送)	昨年度に引き続き、ジャズ/街岡崎発信連絡協議会事業 ジャズ音楽をテーマに配信、その楽しさを紹介しながら岡崎市の発信事業を広く紹介できた。	3
2025. 4. 3～5. 30 12. 5～2026. 3. 27	FM おかざき We Love Jazz	30 万世帯	20 人	毎週金曜日午後9時から30分の生放送を運営、ジャズ音楽の魅力と楽しさをリスナーに提供、岡崎市民に広くジャズ音楽を紹介した。	FM おかざきスタッフのバックアップにより、ジャズの楽しさを実感していただき、市民のジャズファンの拡大に努めた。	3

※分類 ①人を助ける活動 ②活動の担い手を育てる活動 ③人々を啓発し、団体の目的を広める活動

※活動についてチラシ、報告・記録などがありましたらあわせてご提出をお願いします。

■ 2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ○5 4 3 2 1 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

ジャズの街岡崎発信連絡協議会事業に参加し、5団体の共同事業として運營業務を受託してから5年目になります。その活動体制は、全ての事業を協議会の全体事業として捉え、より一体感のある運営体制に注力しながら多岐に渡る事業を実施し、それらの事業収益(入場料)をもとに追加事業を企画しながら実施いたしました。

又、地域のジャズボランティアグループとの共同作業を通して交流を図りました。 千万町においては「じさんじの会・木下ふるさとづくり委員会」との連携し、恒例のジャズ祭りを開催、矢作地区では「花のとう祭り」への企画(予算を含め)に着手し、2027年度からの本格参加を目指します。 本年度の屋外での事業は、荒天による事業の中止もなく、順調な運営で予想を上回る多くの方々にお越しいただくことが出来ました。 多くの方々から来年の“千万町ジャズ祭り”への期待が寄せられ、千万町地域でのジャズの普及を実感する機会となりました。

今年も「内田修ジャズコレクション」の柱であるプライベートテープ活用事業に力点を置いて「ジャズ講座」を開催、ヤマハジャズクラブ例会において活躍された山下洋輔氏(pf)をお招きし、内田修氏が目指し、運営していた例会の記録音源を視聴しながら、当時のミュージシャンの様子やジャズシーンを振り返り、その例会の目的と内田氏の日本のジャズへの貢献を明らかにしてゆくことができました。

一般のライブとその目的について一線を画した講座やライブの企画運営は地道であるが実のある活動であると考えおり、特に若い人達へジャズ音楽を振興して行くための大切な機会と捉え、今後も継続して行きます。

又、コレクション活用事業として、TBMレーベルを特集したジャケット展示会&藤井武氏講演会を開催し、当時の日本のジャズシーンを振り返りながら「TBM/スリープ・ライト・マイス」の果たした役割を学ぶことができました。又、ジャズ音楽の時代を感じさせるジャケットの展示には高い芸術性を感じました。

さらに継続事業のレコードコンサートも TBMレーベルを特集して開催し、市のレコードコレクションの層の厚さを感じるとともに、市所蔵のジャズコレクションを身近に鑑賞する機会を創ることにより、市民の皆様楽しく紹介し、理解を深めてもらうことができました。

更に、岡崎市のジャズコレクションとの取り組みの一環として、ジャズ音楽番組を制作し、FM 放送により発信してきました。 「ジャズの街岡崎」をより広く強く発信できたと自負しています。